



オーストラリア直送レポート

Vol.4 2015.8.16 校外研修へ

●ドリップストーン校グループ／教育委員会社会教育課・林
吉備中学校・田中

●パーマストーン校・ローズベリー校グループ／教育委員会社会教育課・松場
金屋中学校・中

ドリップストーン校グループ

(林) DS校登校3日目。早いものでDS校に通学するのも今日で折り返しの日です。今日は朝、DS校に登校し市内見学とオーストラリア、ダーウィン市長への表敬訪問に出かけました。市内見学では、ノーザンテリトリー準州の首都の街並みを見学しました。研修生達は、近代的なビルや古くから残る町並みをカメラに収めていました。また、ダーウィンに来てから本格的な買い物の時間が無かったのでダーウィン市内で買い物の時間を設けました。研修生達は、笑顔で思い思いの物を探しに動きだしました。買い物の様子を見ていると、家族の方、友人の方など指を折りながら数えて、レジではゆっくりですが、はっきりとした発音で英語を話していました。集合時間の5分前に全員が買い物を終えて集合していました。楽しい事をしている中でも、しっかりと集団行動を意識した行動が出来ており研修生の成長を感じました。買い物を終えてダーウィン市庁舎に向かいました。ダーウィン市長から直に日本とオーストラリアの関係や国旗、州旗、市旗の意味を教えてくださいましたが、その時も真剣な表情で聞き入っていました。市長さんから研修生一人一人に記念品が授与された時も、きちんと両手で受取り、英語でお礼を言っていました。市長さんへの表敬訪問終了後に小休憩を取りましたが、その時は一緒に来てくれていたDS校生と談笑したり写真を撮ったりと、先ほどまでの真剣な表情は笑顔に変わっていました。このやる時はやる、楽しむ時は楽しむの区別が今日は目に見えて出来ているのが分かって、本当に嬉しかったです。午後からは、ウォーターフロントに移動して、波が起るプールのアクティビティを体験しました。DS校生徒と浮き輪につかまり波に流されてみたりと、本当に楽しそうでした。帰りのバスでは、朝から暑い中市内を歩き回ったり、



市長さんと会って緊張したり、プールを思いっきり堪能して疲れたのか大半の研修生が寝ていました。その研修生の姿を見ていると本当に充実した1日だったのが伝わってきました。明日も校外研修ですが、今日の集団行動の意識やその場所でしっかり学習する気持ちを明日以降も続けて欲しいと思います。

(田中) 今日はバスに乗せて頂き、ダーウィン市の街に出て学習でした。市長さんに会える事が出来ました。女性の市長さんは笑顔と正装で待っていて下さいました。部屋に入る前に、みんな今までと少し違う少し緊張した表情となり、有田川町から代表としてきた中学生の自覚をもってくれた気がしました。今日の林さんからの生徒のみなさんへの課題は、相手になにかをしてもらったり、いただいたりした時の自分のふるまいをどうするべきかを考えていこうでした。それを受け取ってか市長さんや秘書さんに対する



態度もよかったですし、1人1人がキャップ帽を頂く時も、きちと立ってThank you を言えました。今日、市長さんはお忙しそうでしたが、私たちのために正式な仕事以外着ない正装をしてくださっていました。そのことだけでも人に対するマナーとして、大切な訪問であると思ってくださったのだと、生徒のみんなとも話しました。私たちと写真を撮った後、市長さんは足早に次の仕事に向かわれました。どんな出会いも大切に出来ること、私たちも見習いたいです。今日一番うれしかった事は、昼食の後にありました。

私たちが移動した公園まで昼食時に、DS校の先生が、大きなクーラーBOXに入れたサンドイッチや飲み物、りんごなどを運んで来てくれました。「学校から持ってきて下さったんだよ、いただけるそうよ」と言うと、「学校の誰にお礼を言ったらいいのかな、一緒に来て下さったエマ先生にまず言ったらいいのかな」と、すぐにエマ先生の所に走って行きました。それを見てすでに座っている子たちも、サンドイッチや飲み物を手に、お礼が言えました。当たり前のことではありますが、自分から動け、周りの子たちにも気付かせてくれ、彼らも動けた事が嬉しかったなと感じました。よりいっそう美味しい昼食でした。明日の校外学習でも、考えて動くことがとても大切になると思います。楽しみです。

パーマストン校・ローズベリー校グループ

(松場) 8月16日 昨日より雲が多めであるが天気は晴れ。今日はパーマストン郊外の”ジャンピングクロコダイル クルーズ”と”先住民民族(アボリジニ)体験”及び、”ピクニックランチ”の予定。引率職員は7時半にパーマストン(以下PS)校に到着して研修生の到着を待つ。暫くすると、ホストファミリーに送迎された子ども達が到着する。



心の風景を提出するように伝えと、『一枚やったら書ききれやん、もっと紙頂戴』との事。昨日のローズベリー校訪問が楽しかった話や、ホストファミリー宅での出来事を聞かせてくれる。全員集合したところで、目的地に向けてスクールバスで移動する。初日に引き続きパーマストーン校の生徒2名も同行する。移動中、広大な大地広がる湿地帯や、マンゴー畑や、野生の水牛などを見て驚いている様子。40分ほどでバスは目的地に到着する。ジャンピングクロコダイルを見る為に9時に乗船。1時間ほどのクルーズを楽しむ。目の前で行われるクジャンピングクロコダイルを写真でとるために、一生懸命にタイミングを計るなどしながら貴重な体験をする。その後、先住民族体験では、楽器の演奏体験や、狩りに使う矢を投げる体験、伝統的な民芸品など触れる体験ツアーを行う。アボリジニの歴史について、英語で説明を受けるが、意味がわからない様子の研修生がほとんどであった。ランチタイムの後は、広大な大地を見晴らせる高台に移動してピクニックランチを行う。研修生たちは、サンドイッチや、果物を食べながらリラックスした様子で食事を楽しむ。その後、徒歩で展望台に上がる。30分ほど過ごしたあと、PS校に向けて出発、午後3時前に到着する。それぞれのホストファミリーのお迎えを待って順番に帰宅する。暑い日が続く中、研修生達の体調に対する配慮や、リラックスできる時間を設けてくれるPS校の事務局の方々には感謝したいと思う。研修生たちは、昨日のローズベリー（以下RB）校での出来事を楽しそうに話すなど、PS校、RB校で直接生徒との交流を望む者が多いように感じる。何かのきっかけがあれば勇気出して、英語で話しかけたりして交流できる子も多いため、残り2日の学校訪問を有意義に過ごせるよう、全力でバックアップしたいと思います。



(中) 今日は皆さん朝早くから学校に集まり遠足に出かけました。最初に気付いたことが皆さんの返事がYESやNOと英語で返事するようになっていた事です。オーストラリアに到着した頃は恥ずかしそうにしていたのですが、こちらの環境にどんどん適応しているようです。遠足ではジャンピングクロコダイルやアボリジニ体験などのオーストラリアならではの体験ができました。これまでは市街での生活がほとんどだったので湿地や自然の溢れる施設でのピクニックなど日本とは違う環境を楽しむことができました。

